事業所名		多機能型事業所カムファ(児童発達支援)			支援プログラム			作成日	2025 年	7 月	10 日
法人(事業所)理念		1.心地よい場を提供することで、子どもの健やかな成長を支援します。 2.心身共に成長するための基本となる、心の育ち(情緒の発達)を大切にします。									
支援方針		・子どもが安心して、楽しく主体的に遊べるように支援します。 ・人と人との親密な人間関係を深め、社会の中で自ら生きていけるよう支援します。 ・すべての子どもが、一人の人間として尊重され、健やかに成長し、安心して生活できるよう支援します。 ・家族が楽しく育児に携われるように支援をしていきます。									
営業時間			<mark>8</mark> 時	<mark>45</mark> 分から	1 <mark>7</mark> 時	45 分まで	送迎実施の有無	あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持改善のために心身の状態を確認し、必要な対応をします。 ・安心感を基盤として生活リズム形成の支援をします。 ・基本的生活スキル(食事、排泄、身辺自立)を身に付ける支援をします。									
	運動・感覚	・体を動かすことで、体力・姿勢・運動の向上を目指して支援します。 ・楽しかったという達成感を引き出し、意欲や自信につなげ、挑戦する気持ちを育てていきます。 ・保有する感覚を生かしつつ、トランポリンやサーキット活動をすることで、感覚の育ちを促します。									
	認知・行動	・興味を引き出しながら、意欲的に学んでいけるよう支援します。 ・獲得した認知機能を活用して、絵カードやパズル等の教材を通して、空間・時間・形等の概念形成を支援します。									
	言語 コミュニケーション	・楽しく安心できる共感関係を深め、感情の表出や受容ができるよう支援します。 ・ことばの真似や、その場に応じた言語表出などの相互作用によるコミュニケーションが楽しめるように支援します。 ・絵本や紙芝居を用い、読み書きへの興味を引き出していきます。									
	人間関係 社会性	・子どもの気持ちを受容して、安心して楽しく関われるような支援を行います。 ・人との安心関係を深めるために、楽しく活動しては、ほっと共感できるように関わります。 ・活動の中で、安定したアタッチメント(愛着)・共感関係・信頼関係を築いていきます。 ・小集団での遊びを通して、役割・ルール・仲間意識を育みます。									
家族支援		を行います。 ・必要に応じて	で、他機関との連	切な助言(きょう 携をはかっていき 庭の状況やニーズ	ます。	/	移行支援	・保育所等への移行支援 ・並行利用先との連携 ・就学を見据えた、移行			
地域支援・地域連携		・保育園・幼科・地域生活支持	推園・併用事業先 爰拠点等との連携	5			職員の質の向上	・定期的な職員会議 ・ケース会議 ・虐待防止、身体拘束通 ・支援に関する研修の身		衛生管理に基づ	く研修を実施
	主な行事等	・年2回イベント(夏・冬)・季節にちなんだ創作活動や遊び・保護者会の実施・避難訓練の実施									

事業所名		多機能型事業所カムファ(放課後等デイサービス)			支援プログラム			作成日	2025 年	7 月	10 日
法人(事業所)理念		1.心地よい場を提供することで、子供の健やかな成長を支援します。 2.心身共に成長するための基本となる、心の育ち(情緒の発達)を大切にします。									
支援方針		・子どもが安心して、楽しく主体的に遊べるように支援します。 ・人と人との親密な人間関係を深め、社会の中で自ら生きていけるよう支援します。 ・すべての子どもが、一人の人間として尊重され、健やかに成長し、安心して生活できるよう支援します。 ・家族が楽しく育児に携われるように支援をしていきます。									
営業時間			8 時	45 分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無	あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持改善のために心身の状態を確認し、必要な対応をします。 ・安心感を基盤として生活リズム形成の支援をします。 ・基本的生活スキル(食事、排泄、身辺自立)を身に付ける支援をします。									
	運動・感覚	・体を動かすことで、体力・姿勢・運動の向上を目指して支援します。 ・楽しかったという達成感を引き出し、意欲や自信につなげ、挑戦する気持ちを育てていきます。 ・保有する感覚を生かしつつ、トランポリン・平均台・バラスボール等遊具を使用した遊びを通して、感覚の育ちを促します。									
	認知・行動	・興味を引き出しながら、認知機能を育て知覚から行動への発達を促すように支援します。 ・本人の興味から探求心を育て、意欲的に学んでいけるよう支援します。 ・カードゲーム等を通して、空間、時間、形、数等の概念の広がりを支援します。 ・支援スケジュールや時間を視覚化することで、見通しをもって活動にとりくめるよう支援します。									
	言語 コミュニケーション	・楽しく安心できる共感関係を深め、感情の表出や受容ができるよう支援します。 ・ことばの真似やその場に応じた言語表出などの相互作用によるコミュニケーションが楽しめるように支援します。 ・物語への興味を引き出し、読み書き能力につなげていきます。									
	人間関係 社会性	・子どもの気持ちを受容して、安心して楽しく関われるような支援を行います。 ・人との安心関係を深めるために、楽しく活動しては、ほっと共感できるようにします。 ・活動の中で、安定したアタッチメント(愛着)・共感関係・信頼関係を築いていきます。 ・小集団での遊びやゲームを通して、人との関り方や接し方を学び、役割・ルール・仲間意識を育みます。									
家族支援		行います。 ・子どもの成り 支援します。 ・必要に応じ	長や発達の基礎との て、他機関との過	適切な助言(きょう) となるアタッチメン 連携をはかっていき 家庭の状況やニーズ(ト(愛着)の形成 ます。	成ができるよう	移行支援	・必要に応じて学校等との調整・相談援助・連携 ・並行利用先との連携 ・進学等を見据えた、移行に向けての準備を支援します。			
	地域支援・地域連携	・学校・併用	業所や障害福祉† 事業先との情報; 援拠点等との連打		連携		職員の質の向上	・定期的な職員会議 ・ケース会議 ・虐待防止、身体拘束適 ・支援に関する研修の実	正化、安全管理、 施	衛生管理に基づ	く研修を実施
主な行事等		・年2回イベント(夏・冬)・保護者会の実施 ・季節にちなんだ創作活動や遊び ・避難訓練の実施									